

別記様式8 [第5項(6)]

目標達成計画

事業所名 グループホームさちの家

作成日 平成26年3月29日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	21	ADLや認知症状の進行状況の違いも要因となり、入居者同士が孤立しないような関わりが常に必要とされている。	入居者様一人一人の想いや不満等に、職員がしっかりと耳を傾け、気付きを持って支援に努め、入居者様同士が心地良く過ごせるような雰囲気作りを行う。	日々の生活の中で、マンツーマンでゆっくりと日頃の想いに耳を傾ける時間を作り、表情や言動の変化を観察し、記録を行う。職員間での情報共有を図り、一人一人の笑顔に繋がるようなケアを目指す。	6ヶ月～1年
2	19	家族との連携（情報共有や信頼関係の構築等）は、しっかりと取れているが、現状に満足することなく、更に入居者様との関わりを繋げていきたい。	入居者様とご家族様が、共に過ごせる時間をより多く提供出来るように努める。	日頃の面会に加え、行事や催し物への参加をご家族様に声掛けしていく。そして、さちの家での生活の様子を見て頂く機会を多く持ち、入居者様およびご家族様の安心感に繋げていく。	6ヶ月～1年
3	27	入居者様の日々の細かな変化や言動等、職員同士の情報共有を更に充実させたい。	一人一人の細かな情報を職員間で共有する事で、事故防止及びQOL向上に努める。	定例の会議で各入居者様の介護計画や問題点、支援について等全職員で話し合い、情報共有、ケアの統一を図る。日々の記録や気付きボードを利用し、迅速に対応出来るように努める。	6ヶ月～1年
4					
5					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。